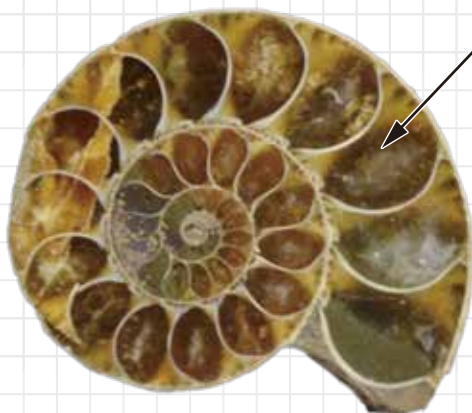


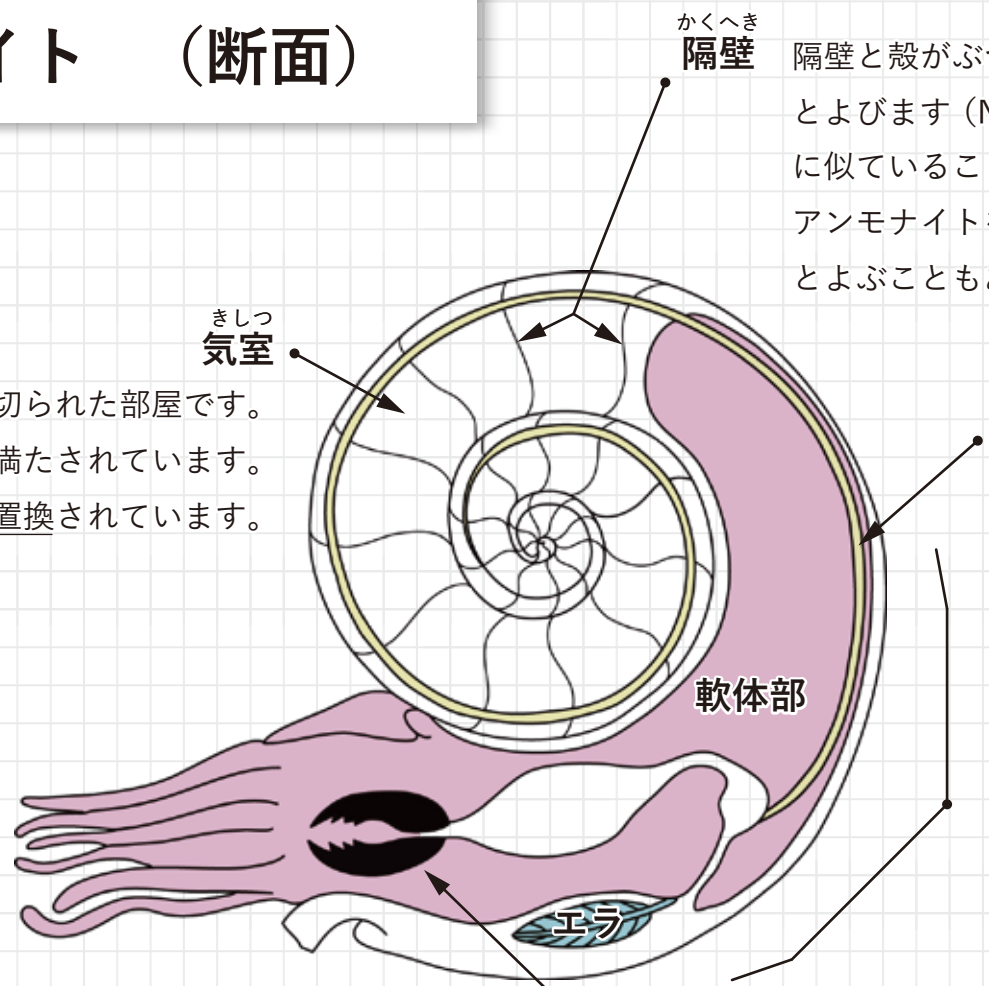
No.3 アンモナイト (断面)

アンモナイトの内部構造

※軟体部はオウムガイを参考に復元したものです。



隔壁で仕切られた部屋です。
気室の中はガスと液体で満たされています。
化石は、気室の中も鉱物に置換されています。



きしつ
気室

かくへき
隔壁

軟体部

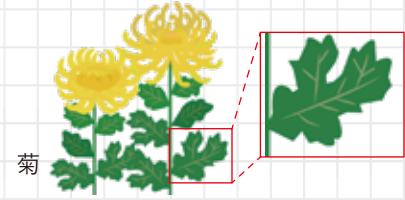
がくき
顎器

れんしつさいかん
連室細管

じゅうぼう
住房

エラ

隔壁と殻がぶつかったところに見える模様を縫合線とよびます (No.1 の資料参照)。縫合線の形が菊の葉に似ていることから、アンモナイトを「菊石」とよぶこともあります。



気室内の液体やガスを出し入れする管で、浮力を調節するための重要な器官です。化石の断面をよく観察すると、管の痕跡が残っていることもあります。

軟体部が入っていたところ。化石に残っていないことも多いです。

エサを食べるときに使います。稀に化石に残っています。イカやタコの顎器は「カラストーンビ」とよばれる珍味です。

異常巻きアンモナイト

不思議な形をしたアンモナイトにも気室や隔壁はあります。これらは異常巻きアンモナイトとよばれますが、病気などではありません。



(御船町恐竜博物館 常設展示より)

アンモナイトのそっくりさん？



カタツムリ

アンモナイトとカタツムリの殻は形が似ていますが、カタツムリの殻には隔壁がありません。